

平成 21 年 3 月 20 日

## 平成 20 年度自己点検・評価報告

学校法人中村学園

専門  
学校 静岡電子情報カレッジ

北海道情報大学静岡教育センター

静岡福祉医療専門学校

(社)静岡県専修学校各種学校教育振興会による「静岡県版ガイドライン」に沿って自己点検・評価を実施しました。

なお、一部の項目については、すでに改善のための方策を実施しております。

---

### 建学の精神

パイオニア（開拓者）の精神を基調とし、益々高度化する現代社会の変化に対応、試行錯誤の中からクリエイティブな精神を培い、独立自尊、もって広く国際社会に貢献する人格の形成を重点とする。

### 具現化

大いなる飛躍の為には、より恵まれた環境（人的・物的）があつてこそ 21 世紀を担う、若人の夢の実現を可能とする。

### 校訓

技術は力なり、我は我が道を行く

“How to” 人間でなく “Why” 人間の養成

### 教育の方針

(専門学校静岡電子情報カレッジ)

21 世紀の高度情報化—マルチメディア社会に柔軟に対応できるエレクトロニクス技術者や情報技術者・スペシャリスト、ビジネススタッフの育成

(静岡福祉医療専門学校)

21 世紀の医療福祉—高齢化社会に対応できる福祉スペシャリスト(社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、訪問介護員、福祉レクリエーション・ワーカー、医療秘書・事務、ケア・クラーク)、の育成

## 1. 教育理念・目標

### [現状の問題点]

- ・ 学生に対する浸透が不十分である。
- ・ 教員が学生に対して教育理念・目標を説く機会は入学、進級時各1回しかない。
- ・ 掲示等もしていない。

### [改善のための方策]

- ・ エントランスホール・ホームルームに掲示。
- ・ 建学の精神、校訓をホームページに掲載する。
- ・ 学生の手引きを各教室に配置。日頃より学生指導の折に建学の精神・校訓・教育理念を盛り込む。
- ・ 校歌歌詞等も同様。
- ・ 学生の手引きに掲載している教育目標を改訂時に確認する。

## 2. 教育活動

### [現状の問題点]

- ・ 全教科のシラバスは作成されているが、学生に対しては一部の教科しか配付されていない。
- ・ 非常勤講師については全ての項目について不十分である。
- ・ 学校を挙げての授業点検・評価は年1回しか行われていない。
- ・ 資格により合格率にバラつきがある。(60~100%)

### [改善のための方策]

- ・ ウェブを活用して、授業、イベント等の内容を外部へ積極的に公開する。
- ・ カリキュラム全体像、科目間の関連性や位置づけを、学生に十分説明する。
- ・ 全教科第1回目の講義時、学生全員にシラバスを配布し、意義と内容について説明する。また、シラバスを電子化し、外部への公開を行う。
- ・ 非常勤講師においても自己点検・評価の意味を理解してもらい、実施を制度化する。
- ・ 授業点検・評価は年2回行う。
- ・ 資格、検定の目標合格率を設定する。

## 3. 学生受入れ

### [現状の問題点]

- ・ 学校案内、学校ガイド、募集要項等の完成時期が遅く、迅速に広報活動に利用できなかった。
- ・ 専門学校電子情報カレッジ、静岡福祉医療専門学校とも、定員に対しての充足率が悪い。今後最も改善に努めなければならない点である。

### [改善のための方策]

- ・ スケジュール管理を徹底する。
- ・ 前年度実績と効果を検証し、計画的な高校訪問、学校説明会等の広報募集活動を行う。
- ・ 体験入学の参加者増を目指し、実施時期・内容を十分に検討する。
- ・ 他校の体験入学の情報を収集・研究し、より魅力ある内容を企画する。

- ・広報ターゲットを高校生に限らず、離職者・福祉施設勤務の無資格者にも広げる。

#### 4. 教職員組織

##### [現状の問題点]

- ・教員により担当科目時間数にバラつきがあり、特定の教員に負担がかかっている。
- ・教職員の能力、業務内容の評価は定期的に適切に行なわれているが、教員個々の業務の量に大小がある。
- ・人数だけに限れば、業務が滞りなく遂行できる教員はいるが、すべての教員が力を発揮しているとは言い難い。

##### [改善のための方策]

- ・各教員の担当時間数を把握・調整し、特定教員の負担減を図る。
- ・専門分野だけでなくビジネス常識等について、どの教員でも担当できるように教員のレベル向上を図る。

#### 5. 施設・設備等

##### [現状の問題点]

- ・実習室の使用頻度が高い時期があり、その際の管理が不十分である。
- ・新刊図書購入が滞っている。図書室利用の決まりが守られていない。
- ・保健室の整理整頓がなされておらず、物置状態である。ベッド数が1床しかなく、複数人利用の対応ができない。
- ・教育用機器の修繕修理が適切に行われていない。
- ・学生に整理整頓を説く立場でありながら、雑然とした教員室である。

##### [改善のための方策]

- ・実習室使用申請の期日を前日定め調整管理する。
- ・教職員、学生に購入希望図書を募り、精査のうえ図書の購入を進める。
- ・保健室としての利用だけに限定できるように整理整頓をし、関係のないものを置かないようにする。
- ・教育用機器の適切な管理を行い、修理修繕が必要な物品が出た場合は速やかに対応する。
- ・教員室内の整理整頓を心掛け、個人情報等の管理を厳重に行う。
- ・教員室・教務室の適切な環境維持のため、各教員一人ひとりが整理整頓を心掛ける。

#### 6. 学生生活支援

##### [現状の問題点]

- ・学生相談については担任制を取り、きめ細やかな指導を行っているが、専門的なカウンセリングの知識技術を持った教員はいない。
- ・一部の学校行事しか適切な事後反省を行っていない。

##### [改善のための方策]

- ・すべての教員がカウンセリング等の研修会へ積極的に参加し、学生指導へ反映する。

- ・問題のある学生が出た場合の指導体制を明確にし、全教員がその大成を理解・実施する。

## 7. 管理・運営

### [現状の問題点]

- ・セクシャルハラスメントについて、これまで問題は起きていないが、専門的な知識もなく防止・対応策が整備されていない。

### [改善のための方策]

- ・セクシャルハラスメントや学校安全計画（防犯対策・不審者対策）等の研修へ積極的に参加する。
- ・学校保健計画（感染症・献血活動・喫煙等）についての整備を行う。

以 上